

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和3年7月15日

事業所名 ゆりかご成育センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	個性等に応じて部屋を分けて指導している	
	2	職員の配置数は適切である	4	1	部屋が複数あるので、過ごしやすいように調整する	学校が複数校有、様々な個性に十分応えられる人数は？ 気になる点はミーティング等で出し合い、早い気づきと検討改善に取り組む。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	バリアフリーになっているので、車椅子等使用している場合は直接入室できるようマット等準備している	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	職員会議で必要な内容についての話し合い共通理解に臨む	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	アンケートの実施	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	研修内容に応じて参加し、伝達講習の場を持っている。	自主研修や参考文献・資料等の情報を提供し、職場内研修に活用する。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	面談を半年に一度行い、保護者のニーズや課題を抽出し、個別支援計画に反映している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	他の指導員にも時について確認し、情報を豊かにする	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	長期休暇時には行事やイベントを企画して行っている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	気づきは言葉にして改善や意識化に臨む	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	毎日行っているが、変則勤務の職員には、出勤時に伝達している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	変則勤務の職員には、記録に取っておき、翌日口頭で説明をしている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	自分ノートを持ち、指導を受けたこと等を記録し、次回に繋げている連絡ノートを作成し利用している	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	1			

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	0	マニュアルを作成し、緊急時の対応の連携を図っている	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0	必要な場合は保護者の許可の下に行っている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	1		特に現在取り組んでいる例は無いが、相談支援員を通して状況を確認している。必要な場合は、児童発達管理責任者の事業所訪問等行っていく準備は出来ている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	研修案内があった時には受講し、伝達講習をしている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	4		今年は機会が無いが、同法人内の事業所や、児童館や体育館への訪問利用は、長期休暇等に利用を行ってきた
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	4		今年は機会が無いが、同法人内の事業所や、児童館や体育館への訪問利用は、長期休暇等に利用を行ってきた
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	面談後保護者が気にかけていることや思いに添えるような行動に心がけている	送迎時に子どもの変化などを聞いたり話して理解を深める
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1	利用契約時に行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4	当施設には無い分、職員が送迎時に必要な情報提供や橋渡し役を意識して対応している	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	何か耳にした時は、直ぐに上司に伝えて対応している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1		
	35	個人情報に十分注意している	5	0	持ち出さない、外では話さない	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	送迎時に様子を伺ったり、こちらから言葉をかけコミュニケーションを図るようにしている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	0	4	事業所内のみでの行事となっている。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1	防災マニュアルは玄関にあり、いつでも目に通せるようにしている	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1		防災DVDの活用も良いのではないかと
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0	4	なし	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	対象者はいない 弁当持参	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0		

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表： 年 月 日

事業所名 ゆりかご成育センター 保護者等数(児童数) 回収数 25 割合 81 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24	0	0	1	広く伸び伸びと活動できるスペースがある	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	19	3	1	2	職員は以前のように1クラスに2人入っていただけると嬉しい	フリーの職員が内容に応じて各部屋のサポートを行う
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	20	3	0	2	スロープやマットなどを設置し、利用しやすいように配慮されている	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	22	3	0	0	色々な聞き取りをしてそれを基に細かく見て支援計画が作成されている	
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	18	3	0	4	色々な活動を計画していただいている	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	7	8	9	必要ない	
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23	2	0	0	説明された	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	25	0	0	0	お迎えの時に子どもの様子を知らせていただき安心できる	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	1	0	0	我が子のように成長を喜んでもらえる。特性の理解、助言が素晴らしいそしてスーッと入る。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	3	13	8	必要ない 子どもが小さい頃(2, 3歳)悩みを打ち明けられる場所が欲しかったが今は希望しない	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	2	1	4	相談員さんを含めて丁寧な対応をいただいている	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	2	0	1	お迎えの時に話せるので有り 難しい連絡ノートに記入	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	3	0	12	インスタグラムなど支援内容などの開示が写真の承諾など取ったり大変だろうと思う	事業所内に掲示したり、ホームページで発信しているが、保護者まで浸透していないことを反省し、紹介の場を持つ
14 個人情報に十分注意しているか	22	1	0	2	特に気にならない		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	6	1	8	掲示や自由閲覧できる	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	0	0	12	様子の掲示がある	
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	23	1	0	1	くつろげる場所で行くことを嫌がったことが無い 小学校になってからの利用が無い ため嫌がっている	利用児が目安を持って過ごせるように、安心できる表記方法や取り組みを支援計画にも取り入れ支援していく
	18 事業所の支援に満足しているか	23	2	0	0	子どもや保護者への言葉かけは有難い	

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。